

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[10] 5<math>\alpha</math>-ジヒドロテストステロン</p>	<p><b>【水質】</b></p> <p>注) 濃縮後に、アセトニトリル/メタノール(90:10)1mLで溶解し、Autoprep MF-11に負荷、アセトニトリル1mLで溶出したものを乾固するまで濃縮し、メタノール/精製水(50:50)で0.5mLに溶解・定容するクリーンアップを行った例があった。</p> <p>「平成20年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>備考</p> <p>分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [10] 0.092</p> <p>分析条件： 機器 LC：Alliance 2695 MS：Quattro micro API カラム CAPCELL PAK MG II C18 100mm×2.0mm、3<math>\mu</math>m</p>